

## 平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

### 1. 調査研究テーマ

幼児教育の質の向上に向けた体制づくりに関する調査研究

### 2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
6/243			0/1			2/61			5/589		0/16		0/2		5/492
園			園			園			所		園		園		校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/2	5/66	1/175	0/0	0/0	0/1	0/0	0/3	2/58	3/313	2/276	0/11	0/5	0/0	0/2	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：2人（2人とも、県費負担により措置）

※アドバイザーの最終経歴：大学講師かつ公立幼稚園長経験者  
大学特任教員かつ公立保育所長経験者

(2) センターの設置：

- ・ 設置年度：設置も含め、検討中。
- ・ 設置形態：設置も含め、検討中。

(3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・ 幼保小接続カリキュラムに係る研究開発指定園・校を指定し、研究開発指定園・校のある地域における研究成果を県内に普及することにより、幼保小の連携・接続についての理解を図り、取組が推進されるよう、啓発した。

### 3. 成果

(1) アウトプット

- ・ 「乳幼児期の教育・保育を考える会」（5回実施）、「事例検討作業部会」（3回実施）、「接続カリキュラム作成部会」（2回実施）、「幼児教育連絡協議会」（4回実施）において、有識者等から意見を聴取し、平成 29 年 2 月に本県における乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方や今後の県施策の方向性を取りまとめた「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに反映した。幼児教育アドバイザーは、それぞれの会において指導・助言を行った。
- ・ 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに盛り込んでいる県施策の一つである「乳幼児期の教育・保育の充実のための支援体制の整備」において、平成 29 年度より、拠点として必要とされる機能や支援体制の整備に向けた検討、様々な機関と円滑に連携できるネットワークの構築を推進するための今後 5 年間の計画を作成した。
- ・ 教員・保育士等の資質向上に係る研修を 2 回実施した。（7/14 保育の質の向上に関する研修、10/13 幼保小接続に係る研修）

(2) アウトカム

- ・ 幼児教育アドバイザーによる 18 件の要請訪問を実施し、保育についての具体的な指導・助言、理論研修の講師、園の経営や保育記録の取り方等についての指導・助言を行った。事後のアンケートによると、満足度が 97%であり、利用者からは「自園・所の良さや課題が明確となり、保育の質を高めるきっかけになった」等、保育の質や保育者の子供の見取りの意識の変容が見られた。

- ・ 幼児教育アドバイザーが幼保小接続カリキュラム研究開発指定園・校（広島市立落合東小学校区，廿日市市立友和小学校区，安芸高田市立甲立小学校区，三原市立幸崎小学校区及び熊野町）へ12回訪問し，カリキュラム作成や実践事例のまとめ方等について指導・助言を行ったことにより，研究開発指定園・校における幼稚園，保育所及び小学校の接続に関する意識や組織体制の意識が高まった。また，県内の全ての公立・私立を問わず，幼稚園，保育所及び認定こども園の職員を対象に報告会を実施したことにより，事後のアンケートには，「アプローチカリキュラム，スタートカリキュラム作成においては，それぞれの地域の特性，状況に応じ，作成し，段階的に修正させながら，発展させていくことが大切である」等，参加者の幼保小接続の意識の向上につながった。
- ・ 乳幼児の発達の道筋を理解した上で，乳幼児理解に基づく保育実践を行うことを目的に，保育の質の向上に係る研修会を県内の公立・私立，幼稚園・保育所・認定こども園の別なく実施した。108名参加があり，事後のアンケートには，「子供の発達を明確にした上での援助の大切さや，一人一人を大事に強みや特徴を生かした保育の大切さを改めて実感した」等，肯定的な声があり，所期の目的を達成することができた。

#### 4. 上記を含めた，平成29年度の実施計画

##### ア. 『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン」に掲げる施策の着実な実施

##### ①乳幼児期に育みたい力の育成に向けた教育・保育内容づくり

プランに掲げた5つの力の育成に園・所が取り組めるよう事例集を作成する。作成に当たっては，学識経験者から意見を伺う。

##### ②幼児教育アドバイザーの配置による乳幼児期の教育・保育の充実

###### 【幼児教育アドバイザーの増員・幼児教育アドバイザーの育成】

- ・ 配置場所：県教育委員会，教育事務所，人数：8名
- ・ 専門性：公立・私立を問わず，幼稚園・保育所での経験を有し，接続期のカリキュラム等教育・保育内容について指導できる専門性を有する者
- ・ 役割：ア. 幼保小接続カリキュラムの編成実施についての指導・助言  
イ. 要請のあった県内幼稚園・保育所等への個別訪問による指導・助言  
ウ. 事例検討作業部会・事例検討部会における指導・助言等  
エ. プランの周知

##### ③幼保小接続の推進

- ・ 幼保小合同研修会の実施
- ・ 幼保小接続カリキュラム実践事例集の普及
- ・ 幼保小接続コーディネーターを小学校に位置付けるための説明会実施
- ・

##### ④プランの周知

- ・ 全ての教育・保育施設を対象とした説明会の開催等
- ・ リーフレットやインターネット等を活用した家庭・地域への普及・啓発

##### イ. 幼児教育の拠点である幼児教育センター機能の検討

###### 【「調査研究実行委員会(乳幼児期の教育・保育を支援する拠点を考える会)」(意見を聴く会)】

- ・ 構成メンバー：「オール広島県」でプランを推進する組織や拠点としての機能について関係部局と連携しながら検討するとともに，必要に応じて1から2回，学識経験者等から意見を聴取する。

# 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン

～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～

平成 29 年 2 月 広島県・広島県教育委員会

## 10 年先を見据えた施策展開

### I 子供の育ちのつながり

#### 施策 1 教育・保育内容、教員・保育士等の研修の充実等

- ①園・所等や家庭における教育・保育の内容づくり
- ②全ての園・所等を対象にした計画的・組織的・実践的な研修の実施等
- ③教員・保育士等養成機関等との連携
- ④教員・保育士等の人材の確保

#### 施策 2 幼保小連携教育の推進

- ①幼保小の接続に係る研修会の実施
- ②幼保小の接続コーディネーターの育成
- ③個別の教育支援計画等を活用した幼保小連携

目指す乳幼児の姿

## 遊び 学び 育つひろしまっ子！

感じる・気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人とかかわる力

### II 親子・地域のつながり

#### 施策 3 子育てに役立つ情報の提供

- ①家庭での取組に役立つ情報の提供

#### 施策 4 親子の学び・集いの場の充実

- ①親などの学習機会や親同士の交流のための参加体験型学習プログラムの開発・普及
- ②親子での体験活動プログラムの開発・普及

#### 施策 5 地域による親子支援

- ①地域の子育てボランティア等によるチーム型支援体制の充実
- ②園・所等を拠点としたボランティアによる絵本の読み聞かせ、親の学習機会提供の支援

### III 行政・関係機関のつながり

#### 施策 6 関係機関の連携の推進

- ①子育て家庭を社会で支えることの大切さを広く県内に啓発するための連携
- ②乳幼児や親子の体験活動充実のための連携
- ③配慮を必要とする親子への支援のための連携
- ④子供と家庭に関する切れ目のない相談体制の充実のための連携
- ⑤質の高い教育・保育を推進するための連携

#### 施策 7 乳幼児期の教育・保育の充実のための支援体制の整備

- ①「オール広島県」で、乳幼児期の教育・保育の充実のための施策を総合的に実施するための拠点としての機能を担う支援体制の整備に向けた検討